

平成29年6月22日（木）実施

ジオパーク講座

霞ヶ浦最大級の港町

「高浜」の

謎を解く！

日時 6/22 14:00～16:00
場所 石岡市中央公民館 第三・四会議室
参加者 47名
講師 千葉隆司 氏
内容 ジオパークの視点から見る高浜の歴史

ジオパーク講座
霞ヶ浦最大級の港町

「高浜」の謎を解く！

6/22(木)
午後2時～4時

講師
かすみがうら市歴史博物館学芸員
茨城大学文学部助教授
茨城大学非常勤講師
茨城山地域ジオパーク教育 学術部員
ちば たかし
千葉 隆司

講師紹介
千葉 隆司(ちば たかし)
1971年2月石岡市生まれ。中学校社会科教員を経て
1994年よりかすみがうら市歴史博物館学芸員、茨城学院
大学非常勤講師、茨城大学非常勤講師を務める。専門は
考古学・博物館学、地域資源(歴史・景観・ジオサイト
など)を活かした地域活性化、地域コミュニティの再生
のためのまちづくり講座・教室に力を入れている。

申込・問い合わせ先
石岡市 経済部観光課
☎ 0299-43-1111
※先着30人に限り受付受付を
締め切ります。

茨城山地域ジオパーク推進協議会 石岡市歴史博物館 石岡市観光課 石岡市観光課 石岡市観光課

ジオ講座で地域を学ぼう！

ジオパーク講座では、私たちの住む地域の「地形と歴史の関係」を学び、郷土愛を育むことを目的としています。

今回のテーマは高浜。かつて港町として繁栄した高浜はどのような歴史を経て現在の姿になったのでしょうか。講義の内容を少しご紹介します。

高浜の地形・地質

約2万年前の最終氷期に恋瀬川の活発な下刻作用(川底が削られること)によって深い谷地形に恋瀬川が運ぶ土砂が堆積してゆき、高浜地質の地盤を形成しています。その後、12〜13万年前の子東京湾時代には、海底となった高浜地域に砂や泥が堆積しました。この地層からは生物が活動していた痕跡が見られ、当時の海の環境が伺えます。古東京湾は、下末吉(しもすえよし)海進ともいい、関東地方一帯が海となりました。

高浜の古代史

高浜は、「常陸国風土記」茨城郡条にあるように、四季折々の情景や歌垣を物語ると考えられる多くの人々が集い、この地で楽しむ様子がみられ、高浜地域は古代において魅力的な場所であったことがわかります。一方で、古代の高浜は中央から国司として赴任した役人が、神拜(一宮から順に国内の神社を参拝すること)の際に、常陸一宮の鹿島神宮への参拝は高浜から船で赴いていました。しかし天候によって船が出せない場合は、高浜の水草を使用して仮殿を高浜に造って、鹿島神を遙拝したとされます。その仮殿が今の高浜神社です。



高浜神社の絵馬

慶応4年(1868年)に作成された奉納絵馬には当時の高浜の様子が描かれています。波打ち際に打たれた木杭の堤防付近には大小の木造船が停泊しており、その堤防と蔵や家並みの間には空間があり、米俵が積み重ねられていたり、陸上輸送の馬などがみられます。また街並みの向こう側には街道がみられ、向かって左側に進むと府中方面、右に進むと小川方面であるが、多くの往来する人々もみられません。左下には、陸と水辺が明確に分かれていない状況に展開する水田が描かれています。



繁栄を極める高浜の港

明治30年(1897)『茨城県町村沿革史』に高浜は、「霞湖沿岸の地にして船舶の往来頻繁なるにもならず、且つ水戸笠間石岡到達する道路に当るを以て百貨輻湊し、水運の便に至りては他に比肩の地なし」とあります。

さらに、明治14年(1881)『高浜海岸の輸出入の概略』には、高浜には西茨城郡一円と東茨城郡の内陸前浜街道より西側の約41村、新治郡の内恋瀬川流域、特に柿岡周辺の約60村、そして石岡町周辺の約20村から物資が集まり、江戸へ運ばれたことが記されており、その物資とは、

米・麦・大豆・小豆・雑穀・薪炭・油・醤油・材木・瀬戸物

で、帰り舟として江戸から運ばれる物資は、

塩・空き樽・粕・干鰯・砂糖・蠟燭・鉄・呉服・太物・荒物・小間物その他雑品

だったとされています。

明治22年(1889)に水戸線が明治23年(1890)には常磐線が開通し、それまで高浜港に輸送を委ねていた地域が鉄道輸送に切り替えていきました。高浜港は、鉄道との連携を狙って、さらなる交通の要衝地を位置づけていくようになります。

日本鉄道株式会社の海岸線(常磐線)計画は、取手から竜ヶ崎・土浦・石岡・友部を結んだ直線に路線杭を下しましたが、竜ヶ崎は岡蒸気を嫌い、牛久沼付近に駅を、土浦と高浜は霞ヶ浦湖岸に路線を迂回させ、水上交通と連結させる駅を計画しました。しかし、高浜は恋瀬川河口域の軟弱地盤に悩まされます。路線の築堤のために高浜駅北側の大地のトンネル計画を断念し、この大地の切り土をもつて築堤作業に入りますが、予想以上の大量な土を必要としたのでした。

このようにして整備された高浜駅には、高浜港付近から駅付近にまで船が通行できる水路も整備されたのでした。これにより、高浜は船と鉄道の両方を兼ね備え備える地域となったのでした。

高浜周辺の開拓事業

しかし、高浜の交通の要衝地という長い歴史は、大正14年(1925)に着手される高浜入り開拓事業によって終焉を迎えるようになります。

高浜入りに広がっていた湿地帯を開墾し、耕地を拡大するため、周辺を埋め立てるという計画は、それまでの高浜という地域の位置づけを大きく変えるものとなりました。



高浜は、歴史の中で地形や土地
利用は大きく変化したものの、豊
かな自然環境はまだ残されてい
ます。現代に生きる我々が、高浜
の特性や歴史の変遷を理解した
上で、今後どのような地域づくり
をしていくか、将来に何を残し伝
えていくか考えていかなければな
りません。

ジオパークはそのような地域の
成り立ちの上に展開する人類の
営みを捉え、地域の特性を見いだ
し、より良い未来へ向けた地域社
会を形成するための一つの考え
方であり、きつかけづくりとして
重要なものなのです。



講座の様子

参加者アンケート

講座に参加いただいた方にアンケートを
実施！項目と結果は次の通り♪

| | | |
|--------------------------|--|----|
| ●あなたの年代は？ | | |
| 10～20代 | | 0 |
| 30～40代 | | 1 |
| 50～60代 | | 17 |
| 70～80代 | | 18 |
| 合計 | | 36 |
| ●ジオパークという言葉を知っていま したか | | |
| 知っていた | | 34 |
| 知らなかった | | 2 |
| 合計 | | 36 |

| | | |
|----------------|--|----|
| ●講座の内容はいかがでしたか | | |
| とても満足 | | 16 |
| 満足 | | 20 |
| 不満 | | 0 |
| とても不満 | | 0 |
| 合計 | | 36 |
| ●今後のジオ講座の参加意向 | | |
| 是非参加したい | | 34 |
| 参加しない | | 0 |
| 無回答 | | 2 |
| 合計 | | 36 |

年齢層は50～80代の方が多く、参加者のジオパーク認知度は高いようですね。
内容に関しては多くの方にご満足いただけましたようです☆

参加者の感想

・各時代の変化をわかりやすく説明して
いた。

・高浜に関しての先生の話よく理解でき
ました！

言葉の意味は難解な部分もあったので
解決する手段は。

・大変有意義な二時間でした。企画され
た関係者感謝いたします。千葉先生あ
りがとうございました。